

に在つて、高さ三二二米。地質第三紀層。

ジヨウヤマ 城山 能美郡輕海郷金平・大野・江指に渉り、地方人は城山と呼ぶ。宇津呂丹波の居と傳へる。

ジヨウヤマ 城山 鹿島郡古城(部落名)の東南に在つて、古へ畠山氏の七尾城の在つた山。高さ圖上測定三〇〇米、地質第三紀層。
シヨウウウジ 正養寺 鳳至郡淺生田に在つて、眞宗東派に屬する。

ジヨウウウジ 淨養寺 石川郡白山(部落名)に在つて、眞宗東派に屬する。當寺内に『文明二年庚寅六月二十八日』運權少僧都『文明五年三月二十一日良快』と刻した五輪があり、良快は白山比咩神社藏觀經寫經に應永卅四年六月吉日金剛佛子良快と見えるものである。是等は加賀で年號を有する墓石で最も古のものなるべく、淨養寺の寺地はもと天台寺院のあつた所であらう。

ジヨウラク 上洛 加賀侯の金澤・京都間の往來は前田利常の時まで屢あり、光高も世子の時、寛永十一年將軍家光に伴うて上洛したが、綱紀の時には享保五年四月江戸よりの歸途、その女二條吉忠夫人を見る爲立寄つたことがあるのみで、爾後全く斷絶した。然るに藩末に至り、文久三年二月前田齊泰が幕命によつて上洛したを初とし、再び往復の頻繁を加へるに至つた。この時には加賀松任・小松・大聖寺・越前金津・福井・府中・今庄・敦賀・近江海津・今津・堅田・大津泊りで、里數六十四里を十三日程にしたが、短縮した時には松任・小松・大聖寺・金津・福井・府中・今庄・敦賀・海津・大溝・堅田泊りの十二日程にしたこともあり、又松任・小松・大聖寺・金津・府中・今庄・

敦賀・海津・堅田・大津泊りの十一日程にしたこともある。又慶應三年十一月前田慶寧の上洛の場合には東街道を取り、その六十九里を小松・大聖寺・越前金津・府中・今庄・近江木下・長濱・高宮・守山・大津の十一日程にしてゐる。個人の旅行は概ね西街道を取つて、近江の鹽津から大津に至る間は琵琶湖上の舟運によることが多かつた。西街道及び東街道の距離は次の如くである。

金澤野町一里 野々市一里五町 松任一里六町 荒屋柏野二十五町 水島二十七町 粟生二十四町 寺井一里三十二町 小松一里三十一町 月津三十五町 動橋一里二十四町 大聖寺一里九町 橋一里半 越前細呂木一里半 金津二里半 長崎一里半 森田一里 福井一里 淺水一里 水落一里 鯖江一里 府中一里 今宿一里 脇本一里 鯖波一里 湯尾一里
今庄二里 二屋一里二 今庄二里半 板取二里四町 新保十八町 葉原一里 近江中河内二里一里半 道ノ口二里 疋田一里 椿坂一里 柳瀬一里 一里 駄口一里 山中三半 木ノ本二里半 長里 近江海津 三里 今津 濱二里半 米原一里半 三里二十四町 小松 三里八 高宮二里 愛知川二町 木戸一里半 榎一里 里半 武佐 四里 守山和邇一里 堅田二里 一里半 草津 三里二十四町 坂本 一里半 四町
大津 三里 京都三條大橋
シヨウラクジ 正樂寺 河北郡木津に在つて、眞宗東派に屬する。
シヨウラクジ 正樂寺 鳳至郡金藏に在つて、眞宗東派に屬する。
シヨウラクジ 勝樂寺 能美郡安宅に在つて、眞宗西派に屬する。山號は永光山。

シヨウラクジ 勝樂寺 鹿島郡小田中に在つて、眞宗西派に屬する。

シヨウラクジ 勝樂寺 珠洲郡鹿野(今野々江)に在つて、眞宗東派に屬する。山號は鹿野山。

ジヨウラクジ 淨樂寺 鳳至郡馬渡に在つて、眞宗東派に屬する。
ジヨウラクジ 常樂寺 ↓イヅモジ 出雲寺。

ジヨウラクジ 常樂寺 羽咋郡免田に在つて、眞宗東派に屬する。

ジヨウラクジ 常樂寺 鹿島郡高畠の附近にあつた。今その舊址を寺が上又は寺が谷内と呼ぶ。常樂寺は眞言宗に屬したが、中頃眞宗に歸して同地徳照寺となつたといふ。

シヨウリアン 松裏庵 金澤に於ける蕉風俳人の庵號。北枝の門人如柳初めて之を唱へ、如柳の養子如本、閑更門の可策、眉山門の文黛(紋岱)、馬來門の春雄、眉山門の古來これを繼席した。

ジヨウリキ 城力 石川郡犀川庄に屬する部落。
ジヨウリキジ 定力寺 石川郡日向に在つて、眞宗東派に屬する。

シヨウリュウ 昌隆 ↓シヨウオクシヨウリュウ 紹屋昌隆。
シヨウリュウアン 小立庵 金澤小立野なる天徳院の塔司であつた。天徳院の由來書に、開山巨山泉滴の弟子需源が寛永九年に建立した所で、本山寺領の内毎年二十俵を寄進せられた。享保三年當庵類焼し、寛延元年再建したとある。明治五年無檀無住の寺院廢止令により、六年庵號を廢止したが、建物はそ

の儘にあつたので、八年寶圓寺末三洞庵を小立庵の跡に移した。
シヨウリュウウジ 松立寺 金澤彦三町に在つて、眞宗西派に屬する。
シヨウリュウウジ 昌柳寺 金澤野田寺町に在つて、徳本山と號し、日蓮宗に屬する。文祿四年富田與五平これを櫻島に創建して母の墳寺とし、妙愍院日俊を寺主とした。明治十三年今の地に移る。

シヨウリュウウジ 昌隆寺 白山記に中宮八院の中に昌隆寺を擧げて、能美郡輕海郷内であると記してゐる。加賀志徴に、白山宮莊嚴講中記録元亨二年の條に、『八院、中聖隆寺、奉入神輿』とあるのがそれであると指摘して居るが、尙位置は不明である。越登賀三州志に、今の正蓮寺村をその寺跡と推定するもの、或は當を得てゐるであらう。

ジヨウリュウウジ 乘龍寺 金澤卯辰にあつて、天台宗に屬し、光明山と號した。初め石川郡日御子宮の社僧であつたが、寛永二十年前田光高が東照宮を金澤城内に建立した際、台僧が不足であつた爲、之を御歩町に移して神役を勤めしめ、後寛文十一年卯辰に轉じ、日御子大明神を鎮守とした。乘龍寺は今存せぬ。

ジヨウリュウウジ 乘龍寺 鹿島郡八田に在つて、眞宗東派に屬する。
ジヨウリュウウジ 成隆寺 鳳至郡別所谷に在つて、日蓮宗に屬する。妙成寺六代日存の創立といふ。能登名跡志に、『此村に成隆寺とて日蓮宗あり』とある。

シヨウリュウウヤ 小龍野 ↓ユダチノ小立野。